

冷媒 R32 対応

三菱電機店舗・事務所用
パッケージエアコン
室内ユニット

形名

PF-RP224EA

PF-RP280EA

取扱説明書

もくじ	ページ
安全のために必ず守ること	4
1. 各部の名称	8
2. 別売部品	12
3. ご使用の前に	12
4. 使用方法	15
5. お手入れ	24
6. 定期点検のお願い	27
7. 製品独自のお願い事項	29
8. 据付工事の確認と試運転	30
9. 仕様	30
10. 修理を依頼する前に	31
11. 法令関連の表示	33
12. 保証とアフターサービス	35
13. 環境関連の表示	36

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買上げ日(据付日または試運転完了日)・販売店名(工事店名)」などの記入を確かめて、販売店(工事店)からお受け取りください。
- 「取扱説明書」と「保証書」、室外ユニットに付属の「R32冷媒施工時チェックシート」は大切に保管してください。
- 添付別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」は大切に保管してください。
- お使いになる方が代わる場合には、本書と「据付工事説明書」および「保証書」をお渡しください。
- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。


This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.


もくじ

	ページ		ページ
安全のために必ず守ること	4	5. お手入れ	24
1. 各部の名称	8	6. 定期点検のお願い	27
1-1. 各部のなまえとはたらき	8	7. 製品独自のお願い事項	29
1-1-1. 室内ユニット	8	7-1. 廃棄について	29
1-1-2. 室外ユニット	9	7-2. 移設時の据付場所について	29
1-1-3. リモコン	9	8. 据付工事の確認と試運転	30
2. 別売部品	12	9. 仕様	30
3. ご使用前に	12	10. 修理を依頼する前に	31
3-1. 使用上のお願い	12	11. 法令関連の表示	33
3-2. 各種運転について	13	11-1. 標準的な使用条件	33
4. 使用方法	15	11-2. 点検と保全周期の目安	33
4-1. 運転方法	15	11-3. 消耗部品の交換周期目安	34
4-2. 運転モードの切替、 室温・風速・風向調節	15	12. 保証とアフターサービス	35
4-2-1. 運転の開始、運転モードを選ぶ とき	15	13. 環境関連の表示	36
4-2-2. 設定温度を変えたいとき	16		
4-2-3. 運転を停止するとき	16		
4-2-4. 風速を変えたいとき	17		
4-2-5. ハイパワー運転を行うとき	18		
4-3. 自動運転、換気運転のしかた	19		
4-3-1. 自動運転を行うとき	19		
4-3-2. 換気運転を行うとき	19		
4-4. その他の表示・点滅について	20		
4-5. タイマ、スケジュール運転のしかた	21		
4-6. ワイヤレスリモコンを使用する場合	22		
4-7. 応急運転のしかた (ワイヤレスリモコンが使えないとき)	22		
4-8. その他の操作について	23		
4-8-1. 長期間使用しないとき	23		

安全のために必ず守ること

- ◆この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、取り扱ってください。
- ◆ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

 **警告** 取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うおそれのあるもの

 **注意** 取扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う、または物的損害が発生するおそれのあるもの

- ◆図記号の意味は次のとおりです。



- ◆お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ◆お使いになる方は、本書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

一般事項

警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- ◆使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- ◆法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。指定冷媒以外を封入した場合の不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

以下の特殊な環境では使用しないこと。

- ◆油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところ
- ◆酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ

◆性能低下・腐食による冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・故障・発煙・火災のおそれあり。



使用禁止

吹き出し風を身体に直接当てないこと。

- ◆体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- ◆燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。
- ◆冷媒漏れ時、冷媒に引火・火災のおそれあり。



禁止

冷やし過ぎないこと。

- ◆体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

改造はしないこと。


- ◆冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止


安全装置・保護装置の改造や設定変更をしないこと。

- ◆ 保護装置を改造して運転を行った場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆ 設定値を変更して使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。
- ◆ 当社指定品以外のものを使用した場合、破裂・発火・火災・爆発のおそれあり。

 変更禁止


ユニットの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。

- ◆ 工具などが落下すると、けがのおそれあり。

 禁止


ユニットの近くに可燃物を置いたり、可燃性スプレーを使用したりしないこと。

- ◆ 引火・火災・爆発のおそれあり。

 禁止


殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。

- ◆ 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。

 禁止


粉塵が浮遊している場合は、ユニットを使用しないこと。

- ◆ 吸い込みによる故障・発煙のおそれあり。
- ◆ 健康障害のおそれあり。

 禁止


ヒューズ交換時は、針金・銅線を使用しないこと。指定容量のヒューズを使用すること。

- ◆ 発火・火災のおそれあり。

 禁止


お手入れのときは不安定な台に乗らないこと。

- ◆ 落下・転倒し、けがのおそれあり。

 禁止


運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。

- ◆ 冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。

 接触禁止


運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。

- ◆ 火傷・感電のおそれあり。

 接触禁止


ユニットを水・液体で洗わないこと。

- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

 水ぬれ禁止


電気部品に水・液体・洗浄スプレー液をかけないこと。

- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

 水ぬれ禁止


水の入った容器を製品などの上に載せないこと。

- ◆ 水がこぼれた場合、ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

 水ぬれ禁止


ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。

 ぬれ手禁止


フィルター清浄・交換など、高所では足を踏み外さないように作業すること。

- ◆ 落下・転倒し、けがのおそれあり。

 指示実行


掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- ◆ けが・感電のおそれあり。
- ◆ 回転機器により、けがのおそれあり。

 指示実行


薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛けること。

- ◆ 薬品がユニットにかかると、運転時にけがのおそれあり。
- ◆ 薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。

 指示実行


換気をよくすること。

- ◆ 冷媒が漏れた場合、酸素欠乏のおそれあり。
- ◆ 冷媒が火気に触れた場合、有毒ガス発生・引火・火災のおそれあり。

 換気実行


燃焼器具を使用する場合は換気をよくすること。

- ◆ 不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。
- ◆ 冷媒漏れ時、引火・火災・爆発のおそれあり。

 換気実行

リモコンに“冷媒センサー交換”が表示されたら、冷媒センサーを交換すること。

- ◆ お買い上げの販売店に相談すること。
- ◆ 冷媒漏れを検知できない冷媒センサーを使い続けると、冷媒漏れ時に火災のおそれあり。

 指示実行

吹出口・吸込口を塞がない。

- ◆冷媒漏れ時、ファンによる攪拌が妨げられるおそれあり。
- ◆攪拌運転が妨げられる場合、冷媒漏れ時に火災のおそれあり。



指示を
実行

基礎・据付台が傷んでいないか定期的に点検すること。

- ◆ユニットの転倒・落下によるけがのおそれあり。



指示を
実行

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を
実行

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ◆充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を
実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ◆ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。



指示を
実行

注意

ユニットの上に乗ったり物を載せたりしないこと。

- ◆ユニットの転倒や載せたものの落下によるけがのおそれあり。



禁止

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- ◆運転停止から5分以上待つこと。
- ◆ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



禁止

空気の吹出口や吸込口に指や棒などを入れないこと。

- ◆ファンによるけがのおそれあり。



禁止

ぬれて困るものを下に置かないこと。

- ◆ユニットからの露落ちにより、ぬれるおそれあり。



禁止

先のとがった物で表示部・スイッチ・ボタンを押さないこと。

- ◆感電・故障のおそれあり。



使用禁止

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆けがのおそれあり。



接触禁止

パネルやガードを外したまま運転しないこと。

- ◆回転機器に触れると、巻込まれてけがのおそれあり。
- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。
- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。



使用禁止

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ◆ほこりが目に入り、けがのおそれあり。



指示を
実行

食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しないこと。

- ◆保存品が品質低下するおそれあり。



使用禁止

保護具を身に付けて操作すること。

- ◆主電源を切っても数分間は充電された電気が残っている。触れると感電のおそれあり。



指示を
実行

吹き出しの風が直接あたる所に動植物を置かないこと。

- ◆悪影響のおそれあり。



禁止

電気部品を触る場合は、保護具を身につけること。

- ◆高温部に触れると、火傷のおそれあり。
- ◆高電圧部に触れると、感電のおそれあり。



指示を
実行

作業する場合は保護具を身に付けること。

- ◆ けがのおそれあり。



吹き出しの風が直接あたる所に食品を置かないこと。

- ◆ ほこり・異物の混入により、品質低下するおそれあり。



フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- ◆ けがのおそれあり。



ユニット内の冷媒は回収すること。

- ◆ 冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- ◆ 大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。



ユニットの据付・点検・修理をする前に周囲の安全を確認すること。

- ◆ パネルが落下すると、けがのおそれあり。



販売店または専門業者が定期的に点検すること。

- ◆ ユニットの内部にゴミ・ほこりがたまった場合、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。
- ◆ においが発生するおそれあり。



薬品消毒実施後は、薬品のガスを換気により排出すること。その後ユニットを運転すること。

- ◆ ユニットに付着した薬品が飛散し、薬品を浴びると、けがのおそれあり。
- ◆ ユニットが吸い込むと腐食・変形による故障のおそれあり。



移設・修理をするときに

警告

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



分解・修理をした場合、部品を元通り取り付けること。

- ◆ 不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。



基板に手・工具で触れたり、ほこりを付着させたりしないこと。

- ◆ ショート・感電・故障・火災のおそれあり。



注意

点検・修理時は、配管支持部材・断熱材を確認し劣化したものは補修、交換すること。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れのおそれあり。



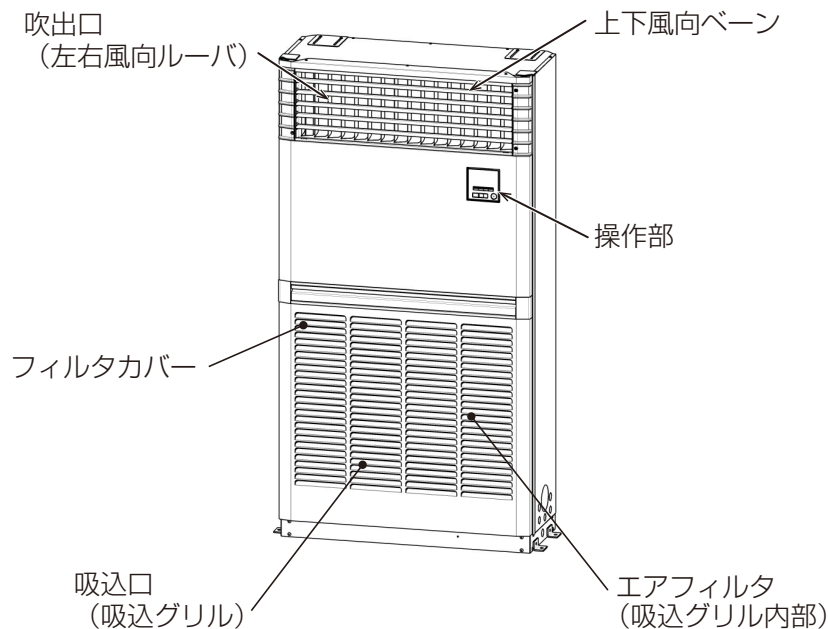
1. 各部の名称

1-1. 各部のなまえとはたらき

1-1-1. 室内ユニット

		PF-RP224,280EA
風速		4速
上下風向調整		手動
左右風向調整		手動(工具要)
エアフィルタ		○
フィルタクリーニングサイン積算時間		100時間
ワイヤレスリモコン 機種設定機種No. ※1	冷暖切替タイプ	019
	冷房専用タイプ	179

※1 ワイヤレスリモコンを使用する場合には、ワイヤレスリモコン側へ上表「機種No.」設定を行ってください。
 ・ 室外ユニットタイプ(冷暖切替タイプ/冷房専用タイプ)により設定する「機種No.」が異なります。
 ・ ワイヤレスリモコンの機種設定方法は、ワイヤレスリモコンの据付工事説明書を参照してください。



お願い

- ・ 吹出口・吸込口を塞がないでください。
風の流れを妨げた場合、能力低下・故障のおそれがあります。
床置形ユニットは冷媒漏れを検知し、ファンにより攪拌する機能があります。
攪拌がさまたげられる場合、冷媒漏れ時に火災になるおそれがあります。

警告

ユニットの据付・点検・修理をする周囲に子どもを近づけないこと。

- ・ 工具などが落下すると、けがのおそれあり。

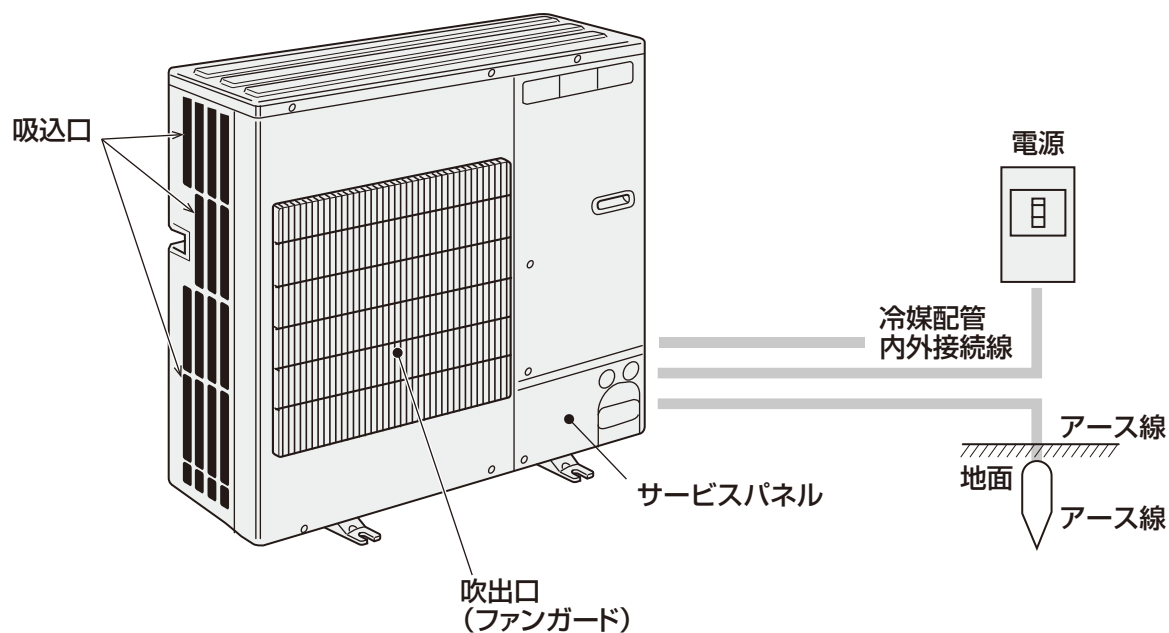


禁止

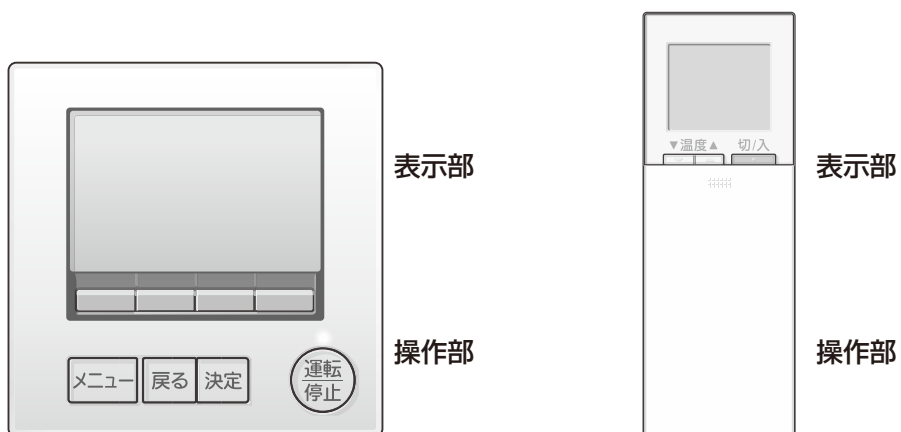
お願い

- ・ 据付・点検・修理をする場合、適切な工具を使用してください。
工具が適切でない場合、ユニット損傷のおそれがあります。

1-1-2. 室外ユニット



1-1-3. リモコン



MAスマートリモコン
(室内ユニットに内蔵)

※操作方法は、MAスマートリモコン
取扱説明書を参照してください。

ワイヤレスリモコン
(別売品)

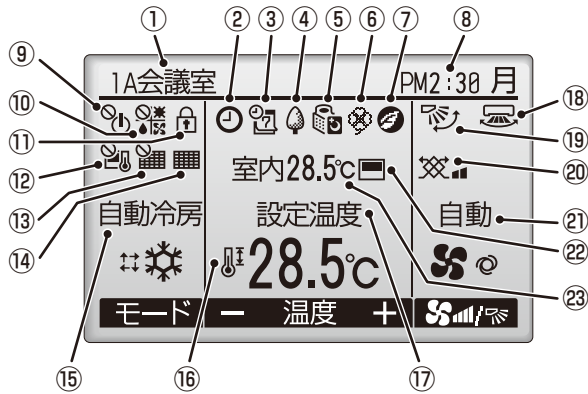
※操作方法は、ワイヤレスリモコン
取扱説明書を参照してください。

[1] MAスマートリモコン

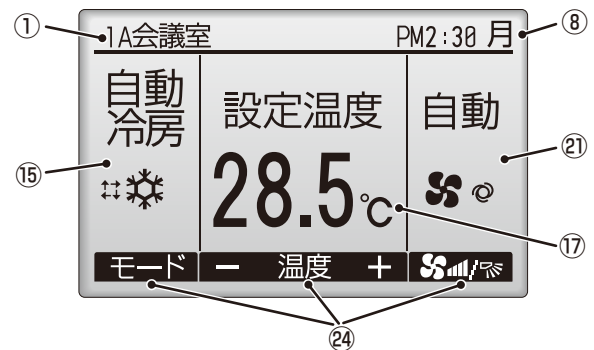
操作部、表示部はMAスマートリモコンを記載しています。(説明のためすべての表示内容を示しています。)メイン画面の表示には「詳細」と「簡易」の2種類があります。初期設定は詳細表示となっています。

(1) 表示部

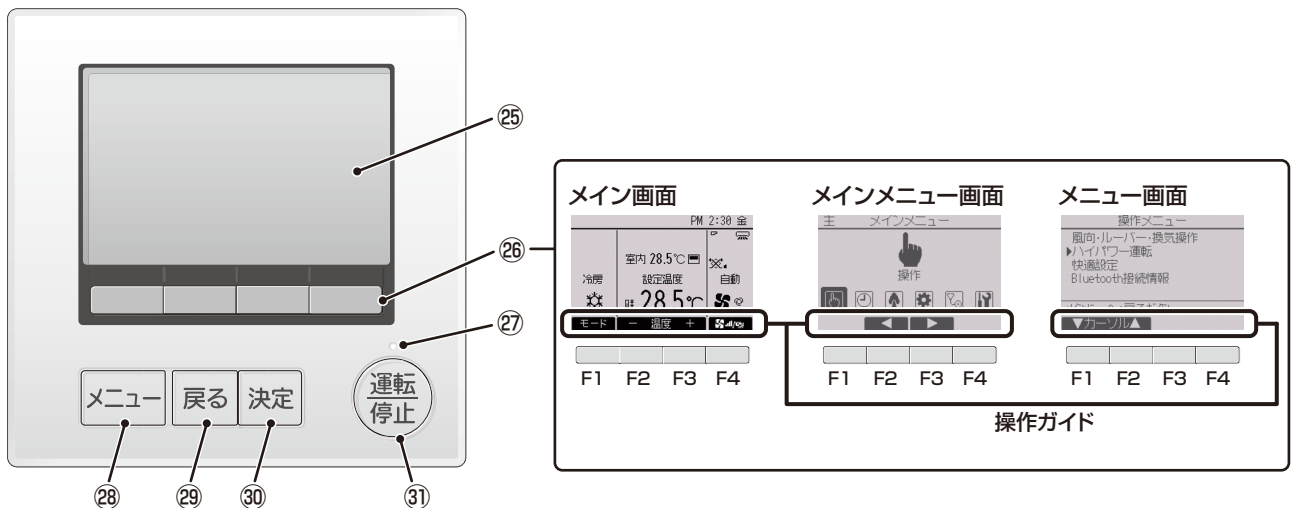
詳細画面(メイン画面)













簡易画面(メイン画面)



(2) 操作部



番号	表示/名称	説明
①	リモコン名	リモコンの名前を表示します。
②		オン/オフタイマならびに消し忘れ防止タイマ設定が有効のときに表示します。
③		週間スケジュールタイマ設定が有効のときに表示します。
④		省エネ制御中に表示します。
⑤		室外サイレントモード制御中に表示します。
⑥		パワーシェア運転有効中に表示します。
⑦	AI	ムーブアイ mirA.I. 有効中に表示します。
※1		ムーブアイ省エネ運転中に表示します。
⑧	時刻	現在の時刻を表示します。
⑨		発停操作が集中管理中のときに表示します。
⑩		運転モード操作が集中管理中のときに表示します。

番号	表示/名称	説明
⑪		操作ロック設定が有効のときに表示します。
⑫		設定温度操作が集中管理中のときに表示します。
⑬		フィルタサインのリセット操作が集中管理中のときに表示します。
⑭		フィルタのお手入れ時期になると表示します。
⑮	運転モード	運転中の状態を表示します。
⑯		設定温度範囲制限設定が有効のときに表示します。
⑰	設定温度	設定温度を表示します。
⑱		設定したルーバ/左右方向の状態を表示します。
⑲		設定した風向の状態を表示します。
⑳		設定した換気の状態を表示します。
㉑	風速	設定した風速の状態を表示します。
㉒		室内温度を検知するセンサ位置がリモコンのときに表示します。室内ユニットのときは  を表示します。
㉓	室内温度	現在の室内温度を表示します。
㉔	ファンクション ボタン操作ガイド	ファンクションボタンの機能名を表示します。
㉕	液晶表示部 (バックライト付)	運転内容を表示します。 バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。 一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。 バックライトの点灯時間は画面により異なります。
㉖	ファンクション ボタン	ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。 液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。
	[F1] ボタン	メイン画面：運転モードを切替えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	[F2] ボタン	メイン画面：設定温度を下げます。 メインメニュー画面：カーソルが左に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	[F3] ボタン	メイン画面：設定温度を上げます。 メインメニュー画面：カーソルが右に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
	[F4] ボタン	メイン画面：風速を切替えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
㉗	運転ランプ	運転中、緑色に点灯します。立上げ時、異常時は点滅します。
㉘	[メニュー] ボタン	メインメニューを表示します。
㉙	[戻る] ボタン	前の画面に戻ります。
㉚	[決定] ボタン	設定の決定をします。
㉛	[運転/停止] ボタン	1度押すと運転し、もう1度押すと停止します。

※1 ムーブアイ mirA.I. 有効中かつムーブアイ省エネ運転中の場合は、ムーブアイ mirA.I. 有効中のアイコンを表示します。

お知らせ

- ・バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。([**運転/停止**] ボタンは除く)
- ・基本運転(運転/停止、運転モード切替、風量調節、温度設定)以外はメニュー画面からの設定となります。
- ・使用する場合は、リモコンに同梱されている取扱説明書を参照してください。

お願い

- 以下の場所では、リモコンを使用しないでください。
 - 付近の温度が40℃以上または0℃以下になる場所
 - 直射日光が当たる場所
 - 湯・油・蒸気が発散する場所

2. 別売部品

パッケージエアコンには、多様な使い方に対応していただけるように、専用の別売部品を用意しています。詳細はお買上げの販売店に問い合わせてください。

3. ご使用の前に

- お客様ご自身では据付けないでください。(安全や機能の確保ができません。)
- 本製品の据付工事は、販売店(工事店)が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 据付工事完了後、「8. 据付工事の確認と試運転(30ページ)」の事項をお客様ご自身でご確認ください。
- 販売店(工事店)が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店(工事店)から説明を受けてください。

3-1. 使用上のお願い

警告

冷やし過ぎないこと。

- 体調悪化や健康障害、食品劣化のおそれあり。



禁止

吹き出しの風が直接あたる所に燃焼器具を置かないこと。

- 燃焼器具が不完全燃焼を起こし、酸素欠乏・一酸化炭素中毒のおそれあり。
- 冷媒漏れ時、冷媒に引火・火災のおそれあり。



禁止

“ミスタースリム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境を作ってください。

1) 室内温度(室温)は最適にしてください。

- 冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
- 冷やし過ぎは電力のムダ使いにもなります。
たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。



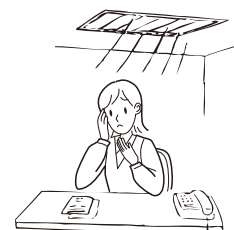
2) 冷房時は熱の侵入を少なくしてください。

- 冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしてください。
- 出入口は必要なとき以外は開けないようにしてください。



3) 室内ユニットの吹出し風を長時間直接肌に当てないでください。

- ・特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。室内ユニットの風を直接肌に当てないでください。

**4) フィルタの清掃をしてください。**

- ・フィルタの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房・暖房能力を低下させます。電力のムダ使いとなります。また露付き・露垂れの原因にもなります。
 - ・ワイヤードリモコンはフィルタサイン付きです。
- ※ フィルタの清掃は専門の業者に依頼してください。

**5) 中間期にはドライ運転をしてください。**

- ・ムシムシすると感じる時は、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
- ・ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じる時があります。ドライ運転を利用してください。

**6) 室内の温度ムラ解消に風向調節をしてください。**

- ・冷房時、冷たい空気は重いので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
- ・暖房時、足元が寒いのは、冷たい空気は重いので床の近くにたまるからです。下吹出しなど風向を調節してください。

**7) ときどき換気をしてください。**

- ・長時間、閉め切った室内では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
- ・送風運転は、室内の空気を循環させるはたらきをします。
- ・冷房・ドライ・暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社「ロスナイ換気扇」を利用しますとムダのない換気ができます。



3-2. 各種運転について

(1) ドライ運転とは

- ・室温が下がるのを抑えながら、湿気を取り除く運転をします。

(2) 暖房運転について

- ・暖房開始時に風が弱い：吹出し空気が一定の温度に達するまでは、吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切り替わります。
その間ワイヤードリモコンには「暖房準備中」と表示されます。(ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯が点灯します。)
- ・風速が設定どおりにならない：室温が設定温度になると、風速は微風となります。
- ・風が出ない：ワイヤードリモコンに「霜取中」表示中は風を出しません。(ワイヤレスリモコンの場合は受光部付近にある表示灯が点灯します。)
- ・運転を停止しても風が出る：運転停止後最大約1分間、室内ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわることがあります。

(3) 換気連動運転とは

- ・室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

(4) 霜取運転とは

- ・ 外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転をしています。霜取運転中はリモコンに「霜取中」を表示します。霜取運転は約 10 分程度（最大 15 分）で終わります。
- ・ 霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

(5) 暖房プレヒートとは

- ・ 霜取運転中の室内温度低下を抑えるため、霜取運転を行う直前に強めの暖房を行い、室温を上げる運転をします。
- ・ 外気温度、霜の付き具合、霜取直前の運転状態によっては効果を得られない場合があります。

(6) 運転停止後の霜取りについて

- ・ 暖房運転停止後、霜取運転をします。運転停止後に霜を溶かすことで、次回起動時の立ち上がり時間が早くなります。
- ※ リモコンに霜取中の表示はされません。

(7) 室外サイレントモードとは

- ・ 室外ユニットの音が気になるとき、能力をセーブし、静音性を優先した運転をします。

(8) 省エネ運転とは

- ・ 消費電力を制限するデマンド制御をします。

(9) パワーシェア運転とは

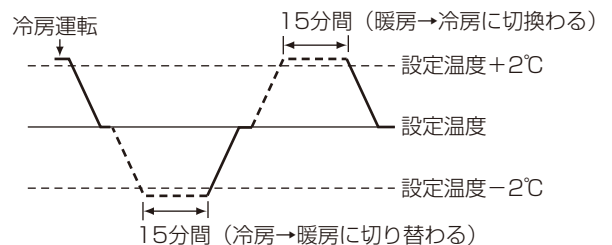
- ・ この機能有効時は各冷媒系統が協調して運転することで全体の電力が最小になるように圧縮機を制御します。この機能は 2～4 冷媒系統が 1 グループの場合に設定できる機能になります。5 冷媒系統以上が接続される場合は設定できません。設定方法は MA スマートリモコン取扱説明書を参照してください。

(10) スマートデフロスト運転とは

- ・ 各冷媒系統が同時に霜取運転にならないように協調します。ただし、条件によっては同時に霜取運転する場合があります。この機能は 2～4 冷媒系統が 1 グループの場合に働く機能になります。5 冷媒系統以上が接続される場合は設定できません。

(11) 自動運転とは

- ・ 設定温度より室温が高いときは冷房運転を開始し、室温が低いときは暖房運転を開始します。
- ・ 自動運転中に室温が変化し設定温度より 2℃以上高くなり、その状態が 15 分続くと冷房運転に切り替わります。また、2℃以上低くなり、その状態が 15 分続くと暖房運転に切り替わります。



(12) 消費電力量、CO₂ 排出量表示について

- ・ 運転中に消費した電力量、または CO₂ 排出量を内蔵リモコンに表示することができます。詳細は下記の弊社 Web サイトより、MA スマートリモコン (PAR-43MA) の取扱説明書を参照してください。WIN²K (<https://www.mitsubishielectric.co.jp/ldg/wink/ssl/top.do>)

4. 使用方法

4-1. 運転方法

警告

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。

- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手
禁止

異常時（こげ臭いなど）は、運転を停止して電源スイッチを切ること。

- ◆ お買い上げの販売店・お客様相談窓口にご連絡すること。
- ◆ 異常のまま運転を続けた場合、感電・故障・火災のおそれあり。



指示を
実行

吹出口・吸込口を塞がない。

- ◆ 冷媒漏れ時、ファンによる攪拌が妨げられるおそれあり。
- ◆ 攪拌運転が妨げられる場合、冷媒漏れ時に火災のおそれあり。



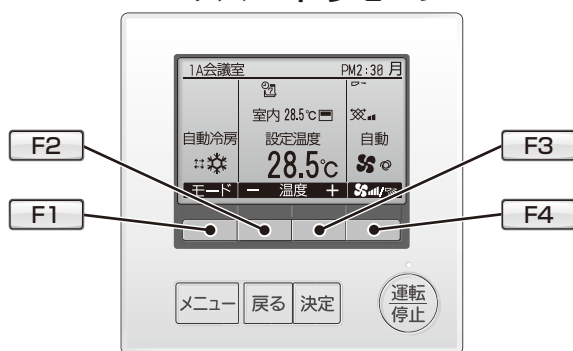
指示を
実行

お願い

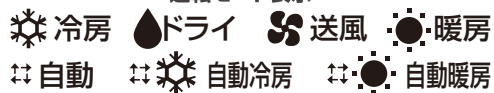
- ・ 電源が入っているか確認してください。
- ・ 停電や電気工事、また外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転を待ってください。
- ・ ユニット運転期間中は電源を切らないでください。故障のおそれがあります。
- ・ プロパン・ブタン・メタンなどのガス機器および殺虫剤などのスプレー類、塗料を室内ユニットの近くで使用しないでください。冷媒センサーが検知し、異常を表示するため運転できない場合があります。

4-2. 運転モードの切替、室温・風速・風向調節

MAスマートリモコン



運転モード表示



4-2-1. 運転の開始、運転モードを選ぶとき

手順

1. ボタンを押す。
運転ランプと表示が点灯します。
2. ボタンを押す。
 - ・ 1回押すごとに設定が切り替わります。



※1 冷房専用設定とした場合は、自動と暖房の表示はされません。設定もできません。

※2 換気装置が連動されている場合、すべての運転モードで連動しています。

4-2-2. 設定温度を変えたいとき

1) 室温を下げたいとき

手順

1. **F2** ボタンを押す。

2) 室温を上げたいとき

手順

1. **F3** ボタンを押す。

- 1 回押すごとに設定温度を 0.5℃ 変えられます。
- 温度設定範囲は次のとおりです。^{※1}

冷房・ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風・換気
19～30℃	17～28℃ ^{※2}	19～28℃	設定できません

※1 設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。範囲を超えて設定しようとした場合、“設定温度制限中” が点滅表示され、制限中であることが表示されます。詳しくは、リモコンの取扱説明書を参照してください。

※2 ズバ暖スリム室外ユニット組合せ時は、10℃の設定ができます。組合せ機器に制約がありますので、詳細についてはカタログなどを確認してください。

4-2-3. 運転を停止するとき

⚠ 注意

運転停止後、すぐにユニットの電源を切らないこと。

- 運転停止から 5 分以上待つこと。
- ユニットが故障し、水漏れにより家財がぬれるおそれあり。



手順

1.  ボタンを押す。

1) 再運転時の動作内容

MA スマートリモコンで再運転した場合は、下表の内容で動作します。
(ワイヤレスリモコンでの再運転は、リモコンの設定されている内容にしたがいます。)

	MA スマートリモコンで再運転した場合の動作内容
運転モード	前回の運転モード
設定温度	前回の設定温度
風速	前回の設定風速

4-2-4. 風速を変えたいとき

手順

1. **F4** ボタンを押す。
 - ・ 1 回押すごとに設定が切り替わります。

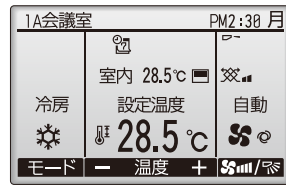
風速	設定の切替わり
4 速 (自動可)	

お知らせ

- ・ 以下のようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
 - ・ “暖房準備中”・“暖房霜取中”表示のとき
 - ・ 暖房モードで外気温度が高いとき
 - ・ 冷房運転直後
 - ・ ドライモードのとき
 - ・ 暖房モードで設定温度より室温が高いとき
 - ・ 暖房運転直後（モード切替待機中）
 - ・ 冷房運転中（室温が設定温度に近いとき）
- ・ 風速自動設定時は、室内温度が設定温度に近づくと静音性を優先し風速を下げます。能力不足や温度ムラを感じた場合は風速を強などに変更してください。

4-2-5. ハイパワー運転を行うとき

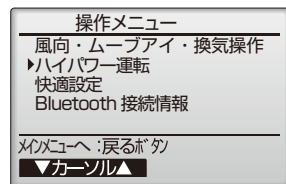
手順

1. **メニュー** ボタンを押す。

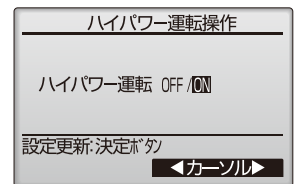
F1 F2 F3 F4

2. **決定** ボタンを押す。

F1 F2 F3 F4

3. **F1** ボタンを押す。**決定** ボタンを押す。

F1 F2 F3 F4

4. **F4** ボタンを押す。**決定** ボタンを押す。

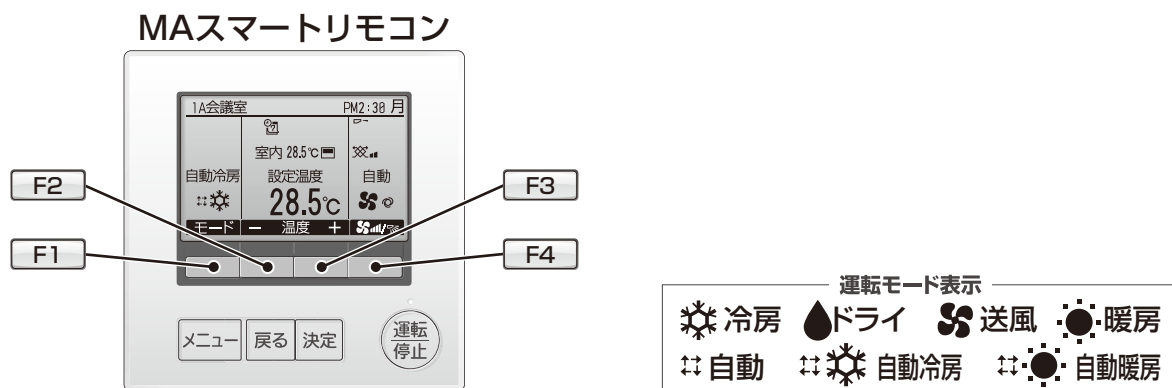
F1 F2 F3 F4



お知らせ

- 運転能力を上げて、すばやく快適な室温に近づけます。
- ハイパワー運転は最大30分間運転し、自動で通常運転に戻ります。
- 運転モード切替、風速切替を行ったときも、通常運転に戻ります。
- 室外ユニットおよび室内ユニットの騒音が大きくなる場合があります。
- 室外ユニットタイプによりハイパワー運転できない場合があります。

4-3. 自動運転、換気運転のしかた



4-3-1. 自動運転を行うとき

手順

1. ボタンを押す。
2. ボタンを押して表示を「自動」にする。

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低いときは暖房運転を開始します。

(14ページ参照)

※ 運転モードが確定した後に、現在の運転モード [自動冷房]、[自動暖房] が表示されます。

なお、リモコンの初期設定で、「自動冷暖表示：しない」に設定変更されている場合には、「冷房」、「暖房」は表示されません。(「自動」の表示のみ)

(リモコンの初期設定については、リモコンの据付工事説明書(設定編)を参照してください。)

4-3-2. 換気運転を行うとき

- 1) 室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき

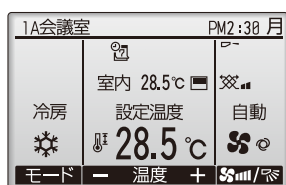
手順

1. ボタンを押す。
 - ・ 室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。

- 2) 換気装置を単独で運転するとき

手順

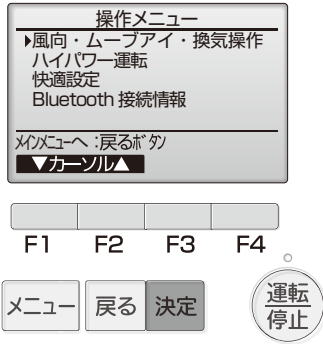
1. ボタンを押す。



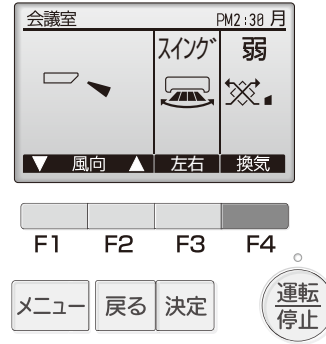
2. ボタンを押す。



3. **決定** ボタンを押す。
 ([風向・ムーブアイ・換気操作] を選択している状態で)



4. **F4** ボタンを押す。



3) 換気運転の風速を変えたいとき

手順

1. **F4** ボタンを押す。

お知らせ

- 室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

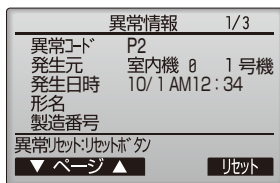
4-4. その他の表示・点滅について

(ワイヤードリモコン)

[1] 「運転ランプ」が点滅し液晶画面に異常情報が表示されている場合

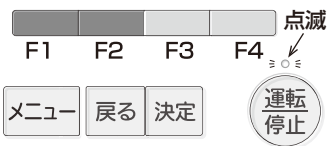
ユニットに異常が発生しているため、運転を継続できずに停止しています。

異常内容を確認のうえ、ユニットの電源を切り、お買上げの販売店(工事店・サービス店)にご連絡ください。

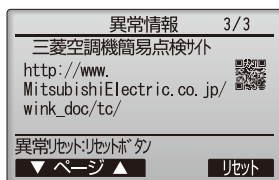


異常コード、冷媒アドレス、形名、製造番号を表示します。
 形名、製造番号はあらかじめ入力されている場合に表示します。

F1、**F2** ボタンを押すと、次のページを表示します。



連絡先情報はあらかじめ入力されている場合に表示します。



携帯電話点検コード検索サービスサイトの二次元バーコードとURLを表示します。

4-5. タイマ、スケジュール運転のしかた

MAスマートリモコンから、タイマ運転、週間スケジュール運転の設定ができます。MAスマートリモコンの[メニュー]ボタンを押してメインメニュー画面を表示し[F2]、[F3]ボタンで設定したい運転を選択します。各運転の詳細設定方法は、リモコンの取扱説明書を確認してください。



[1] タイマ運転

(1) オン／オフタイマ

運転開始時刻と停止時刻が5分単位で設定できます。

(2) 消忘れ防止タイマ

運転を開始してから停止するまでの時間を10分単位で設定できます。設定時間は30分から240分の範囲で設定できます。

[2] 週間スケジュール運転

1週間の運転開始時刻と停止時刻および設定温度を1日最大8パターン設定できます。また、週間スケジュールを2種設定できます。(例：夏用、冬用スケジュールなど)

4-6. ワイヤレスリモコンを使用する場合

ワイヤレスリモコンの操作方法については、ワイヤレスリモコンに付属の取扱説明書、および据付工事説明書を参照してください。

お願い

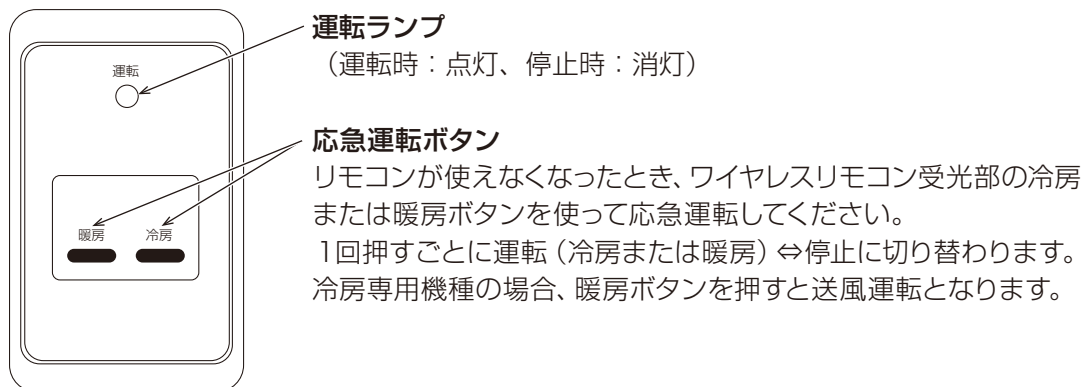
- ・ ワイヤレスリモコンは、室内ユニットの受光部に向かって送信してください。
- ・ 電源を入れてすぐにワイヤレスリモコン操作をした場合、室内ユニットから“ピピピッ”または“ピーピーピー”と発音音がすることがあります。初期自動点検中ですので約3分待ってください。
- ・ 受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。お買上げの販売店へ連絡してください。
- ・ ワイヤレスリモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。また、水にぬらしたり湿度の高いところに置かないでください。
- ・ 紛失防止のためにリモコンホルダ(リモコンに付属)を壁に固定し、使用後は元に戻すようにしてください。

お知らせ

- ・ ワイヤレスリモコン送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから“ピッ”と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなる場合があります。
- ・ 換気単独運転はできません。

4-7. 応急運転のしかた(ワイヤレスリモコンが使えないとき)

ワイヤレスリモコンの乾電池が切れたり、ワイヤレスリモコンが故障したりしたときには、ワイヤレスリモコン受光部の応急運転ボタンを使って応急運転ができます。



お知らせ

- ・ インバータ方式の蛍光灯をつけた部屋では、信号を受けつけない場合があります。新たに蛍光灯を買われる場合は、販売店に相談してください。

※ 応急運転時の運転内容は下記になります。

ただし、最初の約30分間は温度調節が働かず連続運転になり風速は強になります。

運転モード	冷房	暖房
設定温度	24℃	24℃
風速	強	強
上下風向	設定1	設定4 ※1

※1 設定5が存在するユニットは設定5になります。

4-8. その他の操作について

4-8-1. 長期間使用しないとき

[1] 運転停止の方法

手順

1. 4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。
2. 室内ユニットの電源をそのままにする。
 - ・ 床置形室内ユニットは冷媒センサーを搭載しています。
電源を切ると冷媒センサーが給電されず検知ができなくなります。

[2] 再度使い始めるとき

下記手順 1.～4. の点検を行い、異常のないことを確認後、運転を開始してください。

手順

1. フィルタを清掃して、取り付ける。
 - ・ フィルタの清掃は専門の業者に依頼してください。
2. 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。
3. アース線が外れていないことを確認する。
室内ユニットにも取り付けてある場合があります。

お願い


- ・ 再度アース工事を行う場合は販売店(工事店・サービス店)に相談してください。
4. ドレンホースの折曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどがないことを確認する。

5. お手入れ

警告

殺虫剤・可燃性スプレーなどを製品の近くに置いたり、直接吹付けないこと。


- ◆ 変形・引火・火災・爆発のおそれあり。



禁止

運転中および運転停止直後の冷媒配管・冷媒回路部品に素手で触れないこと。


- ◆ 冷媒は循環過程で低温または高温になるため、素手で触れると凍傷・火傷のおそれあり。



接触禁止

運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触れないこと。


- ◆ 火傷・感電のおそれあり。



接触禁止

ユニットを水・液体で洗わないこと。


- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

電気部品に水・液体・洗浄スプレー液をかけないこと。


- ◆ ショート・漏電・感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



水ぬれ禁止

ぬれた手で電気部品に触れたり、スイッチ・ボタンを操作したりしないこと。


- ◆ 感電・故障・発煙・発火・火災のおそれあり。



ぬれ手禁止

フィルター清浄・交換など、高所では足を踏み外さないように作業すること。


- ◆ 落下・転倒し、けがのおそれあり。



指示を
実行

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。


- ◆ けが・感電のおそれあり。
- ◆ 回転機器により、けがのおそれあり。



指示を
実行

薬品を散布する前に運転を停止し、ユニットにカバーを掛けること。


- ◆ 薬品がユニットにかかると、運転時にけがのおそれあり。
- ◆ 薬品がユニットにかかって損傷すると、けが・感電のおそれあり。



指示を
実行

端子箱や制御箱のカバーまたはパネルを取り付けること。

- ◆ ほこり・水による感電・発煙・発火・火災のおそれあり。




指示を
実行

注意

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。


- ◆ ほこりが目に入り、けがのおそれあり。



指示を
実行

フィルターの点検・清掃は専門業者がすること。

- ◆ けがのおそれあり。



指示を
実行

[1] お手入れのまえに

電源を「切」にしてください。

[2] 室内ユニット、リモコンの清掃

- ・ やわらかい布でから拭きをしてください。
- ・ 風向ペーンは手で強く引っ張ったり押ししたりしないでください。故障の原因になります。
- ・ リモコン線を引っ張ったり、ねじったりしないでください。
また、リモコンケースは取り外さないでください。

- ・手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を布などに少量ふくませて使用し、中性洗剤が残らないように拭き取ってください。
- ・ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉・酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

[3] フィルタの清掃

警告

お手入れのときは不安定な台に乗らないこと。

- ◆落下・転倒し、けがのおそれあり。



禁止

掃除・整備・点検をする場合、運転を停止して、主電源を切ること。

- ◆けが・感電のおそれあり。
- ◆回転機器により、けがのおそれあり。



指示を
実行

フィルター清掃・交換など、高所では足を踏み外さないように作業すること。

- ◆落下・転倒し、けがのおそれあり。



指示を
実行

注意

部品端面・ファンや熱交換器のフィン表面を素手で触れないこと。

- ◆けがのおそれあり。



接触禁止

フィルターを取り外す場合、保護具を身につけること。

- ◆ほこりが目に入り、けがのおそれあり。



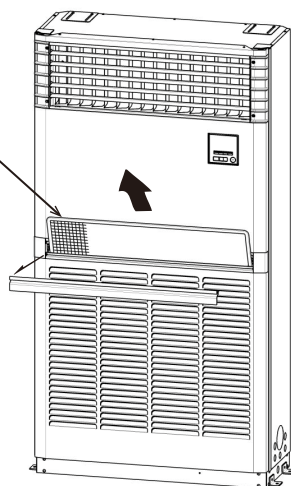
指示を
実行

お願い

- ・フィルタ清掃は専門の業者に依頼してください。
- ・フィルタを取り外した状態で運転をしないでください。内部にごみなどが詰まり、故障のおそれがあります。

(1) フィルタの取外しかた

フィルタカバーを手前に引いて取り外し、エアフィルタは手前斜め上に引き抜いてください。



(2) フィルタの清掃手順

手順

1. フィルタのほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いする。

- 硬いブラシやタワシでこすらないでください。変形することがあります。
 - 汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かした、ぬるま湯ですすいでください。
 - 直射日光や火にあてて乾かさなないでください。
 - 熱い湯(約50℃以上)で洗わないでください。変形することがあります。
2. 水洗いしたあと、日陰でよく乾かす。
 - フィルタは直接日光や直接火にあてて乾かさなないでください。
 3. フィルタを元の状態に取り付ける。(取外しの逆の手順)

(3) フィルタの清掃時期

お願い

- エアフィルタは一週間に一度(特にほこりの多い所ではそれ以上)清掃してください。
- フィルタが詰まると冷暖房効果が低下し、そのまま運転を続けると故障の原因になります。
- フィルタは、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、フィルタの種類ごとに目安時間で表示しているものです。
環境の空気条件によって汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

6. 定期点検のお願い

本製品は、長期間の使用に伴い、製品を構成する部品に生ずる経年劣化などにより、安全上支障が生じるおそれがあります。

本製品を良好な状態で長く安心してご利用いただくために、サービス会社と保守契約を結び、定期的に点検することをお勧めします。

当社指定のサービス会社と保守契約(有料)いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検をいたします。万一の故障時も早期に発見し、適切な処理を行います。

点検のご依頼・ご相談は、別紙の「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご連絡ください。

JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持していただくために、また、冷媒フロン類を適切に管理していただくために、定期的な冷媒漏えい点検(保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む)(いずれも有料)をお願いいたします。

定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置したときから廃棄するときまでのすべての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理(管理委託を含む)をお願いいたします。

なお、詳細は下記のサイトを参照してください。*JRA: 一般社団法人 日本冷凍空調工業会

- JRA GL-14 について、<https://www.jraia.or.jp/info/gl-14/index.html>
- 冷媒フロン類取扱技術者制度について、http://www.jarac.or.jp/business/cfc_leak/

7. 製品独自のお願事項

7-1. 廃棄について

警告

ユニットの廃棄は、専門業者に依頼すること。

- ◆ 充てんした油や冷媒を取り除いて廃棄しないと、環境破壊・火災・爆発のおそれあり。



指示を
実行

注意

ユニット内の冷媒は回収すること。

- ◆ 冷媒は再利用するか、処理業者に依頼して廃棄すること。
- ◆ 大気に放出すると、環境破壊のおそれあり。



指示を
実行

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

- ・ フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ・ この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、専門の回収業者に依頼してください。

7-2. 移設時の据付場所について

警告

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しないこと。

- ◆ 使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災のおそれあり。
- ◆ 法令違反のおそれあり。

封入冷媒の種類は、機器付属の説明書・銘板に記載し指定しています。
指定冷媒以外を封入した場合の不具合・事故に関して当社は一切責任を負いません。



禁止

改造はしないこと。ユニットの移設・分解・修理は販売店または専門業者に依頼すること。

- ◆ 冷媒漏れ・水漏れ・けが・感電・火災のおそれあり。



禁止

- ・ 増改築・引越のため、製品を取外し、再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が別途必要になります。事前に、お買い上げの販売店(工事店)、または指定のサービス店、またはメーカー指定のお客様相談窓口(別紙)に相談してください。
- ・ ユニットの移設時は、販売店または専門業者に依頼し、据付場所は「据付工事説明書」に従って選定してください。

[1] 運転音にも配慮を

- ・ 据付けにあたっては、ユニットの質量に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。
- ・ 室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。
- ・ 室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。
性能低下や運転音増大の原因になります。

8. 据付工事の確認と試運転

- 本製品の据付工事は、販売店（工事店）が関連法規・資格に基づき実施しております。
- 販売店（工事店）が試運転を行う際、立ち会ってください。
- 運転手順、安全を確保するための正しい使い方について、販売店（工事店）から説明を受けてください。
- 据付工事が完了後、次の事項をお客様自身でも確認してください。

内容	チェック欄
• 「安全のために必ず守ること」について説明を受けましたか。	
• 運転手順、安全を確保するための正しい使い方についての説明を受けましたか。	
• 試運転に立ち会いましたか。	
• 据付工事説明書の据付工事のチェックリストがチェックされていることを確認しましたか。	

9. 仕様

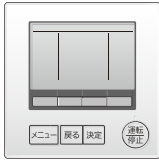






50/60Hz

		床置形	
		224形	280形
室内ユニット	室内ユニット形名 (冷暖房・冷房専用形共通)		
	電源	室外ユニットからの電源重畳 (AC200V)	
	騒音 <PWL> : 強—中1—中2—弱 dB	68-67-66-65	72-70-69-68
	標準風量 : 強—中1—中2—弱 m ³ /min	53-49-46-42	73-67-61-55
	標準機外静圧 Pa	0	0
	外形寸法 (高さ×巾×奥行) mm	1850×985×400	1850×1200×400
	質量 kg	100	111

- 50Hz、60Hz用です。
- 電気特性は製品に貼付している製品銘板に記入しています。
- 騒音値はA特性値です。

10. 修理を依頼する前に

- 以下のことをお調べになって、それでも不具合があるときはご使用を中止し、配線用遮断器(ブレーカ)を切(OFF)にしてから、お買上げの販売店(工事店・サービス店)にご連絡ください。

現象	原因の確認	処置方法
よく冷えない。 よく暖まらない。	フィルタが汚れ、目詰まりして風量が低下している。	フィルタの清掃をしてください。
	設定温度が高くまたは低くなっている。	温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
	室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれている。	室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
	窓やドアが開いている。	窓やドアを閉めてください。
	風速を弱・自動で運転している場合、冷えや暖まりが弱い場合があります。	風速を中・強に変更してください。
	圧縮機の予熱中です。外気温度が-20℃より低い条件で電源を入れた場合、最大で12時間運転できない場合があります。	—
	風速自動設定時は、室内温度が設定温度に近づくと静音性を優先し風速を下げます。	風速を強などに変更してください。
暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。 暖房準備中表示がでる。	暖かい風をおとどけるため準備中です。	そのまま待ってください。
冷房・ドライ・自動冷房運転中に風が止まる。 運転開始時にすぐに風がでない。	冷たい風をおとどけるための準備です。	—
暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。	外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。	そのまま約10分ほど待ってください。
風向が途中で変わる、風向が設定どおりにならない。	暖房運転中、吹出し温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。	—
風向を変化させたときベーンが1往復以上しないと指定位置に停止しない。	風向変化時は、基準位置検知動作をしてから所定の角度にベーンが動きます。	—
水の流れるような音やときどき“プシュ”と音がする。	ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切り替わるときの音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
“ピシッ、ピシッ”という音がする。	温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。異常ではありません。	もし気になるような音の場合は、お買上げ販売店に相談してください。
部屋がにおう。	室内ユニットが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、または衣類などにしみ込んだ臭いを吸い込んで、風を吹き出すためです。	—
室内ユニットより白い霧状の水蒸気が出る。	室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。	—
	霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。	—
室外ユニットより水・水蒸気が出る。	冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。	—
	暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。	—
	霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出る場合があります。	—
リモコンの運転表示が点灯しない。	室内ユニットの配線用遮断器(ブレーカ)が切(OFF)になっています。	配線用遮断器(ブレーカ)を入(ON)にしてください。 表示部に罫線が表示されます。 
リモコン表示部に  の表示が出ている。	 の表示が点灯中はリモコンでの運転・停止が禁止となっています。	—
リモコン表示部に  の表示が出ている。	 の表示が点灯中はリモコンでの運転モードの操作が禁止となっています。	—
リモコン表示部に  の表示が出ている。	 の表示が点灯中はリモコンでの設定温度の操作が禁止となっています。	—

10. 修理を依頼する前に

現象	原因の確認	処置方法												
再運転のために停止後すぐに【運転/停止】ボタンを押したが、すぐに運転を再開しない。	ユニットを保護するため、マイコンの指示で止まっています。	再運転をした場合は、運転するまで約3分間待ってください。												
【運転/停止】ボタンを押さないのに動き出した。	入タイマ運転をしている。	【運転/停止】ボタンを押して停止してください。												
	遠方コントロールが接続されている。	運転を指示したところへ連絡・確認してください。												
	Ⓜの表示が点灯している。	運転を指示したところへ連絡・確認してください。												
	停電自動復帰が設定されている。	【運転/停止】ボタンを押して停止してください。												
【運転/停止】ボタンを押さないのに停止した。	切タイマ運転をしている。	【運転/停止】ボタンを押して運転を再開してください。												
	遠方コントロールが接続されている。	停止を指示したところへ連絡・確認してください。												
	Ⓜの表示が点灯している。	停止を指示したところへ連絡・確認してください。												
停止ボタンを押したのに室外ユニットが動いている。	運転停止後の霜取を行っているためです。	—												
リモコンのタイマ運転がセットできない。	タイマ設定が無効となっている。 タイマ設定が有効なときは、Ⓜ、Ⓜのいずれかが表示されています。	—												
リモコンに“PLEASE WAIT”の表示が出る。	初期設定(約3分)を行っています。	そのまま待ってください。												
リモコンにエラーコードが表示される。	ユニットに障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。	自分では絶対に修理しないでください。 ユニットの電源を切り、お買上げ販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。												
排水音やモータの回転音がある。	冷房運転停止時に、停止後3分間ドレンアップメカを運転してから停止します。	3分間待ってください。												
	運転を停止中でも他の室内ユニットが冷房運転している場合や、加湿器を使用している場合、ドレン水が発生します。ドレン水がたまるとドレンアップメカを運転し、排水を行います。	—												
騒音が仕様値よりも高い。	室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも一般的に次に示す値ほど高くなります。(SPL値)	—												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>吸音効果の高い部屋</th> <th>普通の部屋</th> <th>吸音効果の低い部屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般例</td> <td>放送スタジオ、音楽室など</td> <td>応接室、ホテルロビーなど</td> <td>オフィス、ビジネスホテル</td> </tr> <tr> <td>騒音アップ値</td> <td>3~7dB</td> <td>6~10dB</td> <td>9~13dB</td> </tr> </tbody> </table>			吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋	一般例	放送スタジオ、音楽室など	応接室、ホテルロビーなど	オフィス、ビジネスホテル	騒音アップ値	3~7dB	6~10dB	9~13dB
			吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋									
一般例	放送スタジオ、音楽室など	応接室、ホテルロビーなど	オフィス、ビジネスホテル											
騒音アップ値	3~7dB	6~10dB	9~13dB											
ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。	乾電池が消耗しています。	乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。 ※ 新しい乾電池でも表示の出ない場合は、乾電池の入れ方(+、-)を再度確認してください。												
ワイヤレスリモコン受光部の運転/停止ランプが点滅する。	ユニットに障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。	自分では、絶対に修理しないでください。 ユニットの電源を切り、お買上げ販売店に製品名を連絡してください。												
製品のプラスチックが変色している。	日光の反射などによる紫外線や温度などにより変色することがあります。 製品の使用には問題ありません。	—												
室内ユニットのファンが運転し、【運転・停止】ボタンを押しても停止しない。	室内ユニットから冷媒が漏えいしているおそれがあります。冷媒が漏えいすると自動でファンを運転します。	電源ブレーカを切らずに、部屋を換気しお買上げ販売店に連絡してください。												
	ガス機器(プロパン・ブタン・メタン)やスプレー類を室内ユニットの近くで使用すると、冷媒センサーが検知することがあります。	お買上げ販売店に連絡してください。												

11. 法令関連の表示

11-1. 標準的な使用条件

- 使用温度の範囲から外れたところで使用しますと、ユニットが異常停止したり、故障の原因となります。スリムZR・スリムER・冷房専用・ズバ暖スリムシリーズの運転使用温度範囲

		室内	天井内 ^{※1}	室外
冷房・ドライ	乾球温度	19℃～32℃	～30℃	-5℃ ^{※2} ～52(50)℃ ^{※3}
	湿球温度	15℃～23℃	～80% (相対湿度)	—
暖房	乾球温度	17℃～28℃	—	-20(-25)℃ ^{※4} ～21℃
	湿球温度	—	—	-20(-25)℃ ^{※4} ～15℃

※1 床置形などの露出タイプは除く。

※2 別売のエアーガイドで室外ユニット吸込温度-15℃までの年間冷房運転可能。

※3 ()はP224, P280形およびズバ暖スリムでの温度です。

※4 ()はズバ暖スリムの温度です。

- 室外ユニットの使用温度範囲は室外ユニットにより上表と異なることがあります。各室外ユニットの使用温度範囲はカタログ・仕様書などで確認してください。

以下のような場合には経年劣化を促進させ、設計標準使用期間よりも早期に運転上支障を生じるおそれがあります。

- 製品の使用条件または使用頻度に係る実際の数値が算定の根拠となった数値よりも高い場合
- 目的外の用途に使用された場合
- 標準的な使用環境と異なる環境で使用された場合

[1] 保守点検契約のおすすめ

ユニットを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ごみやほこりなどによりドレンホースが詰り、異常停止することがあります。さらに補助電気ヒータ付き機種は、ヒータにごみやほこりなどが付着することがあります。

通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。

11-2. 点検と保全周期の目安

保全周期は保証期間ではありません。

主要部品名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間
モータ (ファン、ルーバ、ドレンポンプ用など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ (電磁弁、四方弁など)		20,000時間
センサー (サーミスタ、圧力センサーなど)		5年
ドレンパン		8年

- 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- この保全周期は、製品を長く安心して使用するために、保全行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計 (保守点検費用の予算化など) のために役立ててください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。
- 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時に確認してください。
- 使用環境、使用条件によりドレンパンの清掃や抗菌剤投入が必要になる場合があります。

前ページの表は次の使用条件が前提となります。

- ・ 頻繁な発停のない、通常の使用状態であること。
(機種によりこととなりますが、通常の使用における発停の回数は、6回/時間以下を目安としています。)
- ・ 製品の運転時間は、10時間/日、2500時間/年と仮定しています。(氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。)

また、下記の項目に適合するときには、「保全周期」および「交換周期」の短縮を考慮してください。

- ・ 温度・湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所で使用する場合。
- ・ 電源変動(電圧、周波数、波形歪みなど)が大きい場所で使用する場合(許容範囲外での使用はできません。)
- ・ 振動、衝撃が多い場所に設置して、使用する場合。
- ・ ほこり、塩分、亜硫酸ガスおよび硫化水素などの有害ガス・オイルミストなど良くない雰囲気を使用する場合。
- ・ 頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。(24時間空調など)

11-3. 消耗部品の交換周期目安

交換周期は保証期間ではありません。

主要部品名	点検周期	交換周期
ロングライフフィルタ	1年	5年
高性能フィルタ		1年
ファンベルト		5,000時間
平滑コンデンサ		10年
ヒューズ		10年
加湿エレメント(自然蒸発式)		3年
加湿エレメント(透湿膜式)		5年
クランクケースヒータ		8年
ドレンパン抗菌剤(標準搭載機種の場合のみ)		3年
冷媒センサー ※1※2		5年
オイルフィルタエレメント	随時	油が垂れる前に交換

※1 本製品には冷媒センサーが搭載されています。

JRA4068に基づき、冷媒センサーは5年ごとに交換が必要です。

使用開始から5年後にエラーコード(FH 冷媒センサー交換)にて交換時期をお知らせします。

<冷媒センサー仕様>対象検知ガス：R32/検知方法：半導体式/使用温度区分：温度区分1/

使用湿度範囲：～80%RH 結露なきこと/性能区分：性能3/

保守点検方法および冷媒漏えい検知後の取扱方法：サービスハンドブックに記載

※2 シロキサンの多い場所(理・美容院)、ホコリ・油煙が多い場所では冷媒センサーが検知しないおそれがありますので定期的なメンテナンスおよび冷媒センサー周辺の清掃をしてください。

- ・ 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
- ・ この交換周期は、製品を長く安心して使用するために、交換行為が生じるまでの目安期間を示しています。適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のために役立ててください。
- ・ 加湿エレメントは交換が必要な消耗部品です。表は供給水質が市水・上水で硬度70以下の場合の、交換の目安を示します。供給水中の硬度、イオン状シリカ、酸消費量が多い場合、加湿エレメントの劣化が早まります。劣化すると加湿能力の低下、変色、白粉発生などが現れることがあります。
- ・ 使用環境、使用条件により抗菌剤の交換周期の短縮を考慮してください。
- ・ 保守点検の内容は契約会社によって若干異なる場合がありますので、契約時に確認してください。

12. 保証とアフターサービス

■ 保証書

- 保証書は室内ユニットに添付しております。セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日(据付日または試運転完了日)・販売店名(工事店名)」などの記入をお確かめのうえ、販売店(工事店)からお受け取りください。保証書は内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買い上げ日(据付日または試運転完了日)から1年間です

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 製品の故障もしくは不具合より発生した、冷却温度上昇による健康障害や食品劣化、水漏れなどによる家財破損などの付随的損害の責については、ご容赦ください。

■ 補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この製品の補修用性能部品を製造打切り後10年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ ご不明な点や修理に関するご相談は

- お買い上げの販売店(工事店・サービス店)か「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」(別紙)にご相談ください。(所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。)

■ 修理を依頼される時は(出張修理)

- 「修理を依頼する前に」(31 ページ)にしたがってお調べください。
- なお、不具合があるときは、ご使用を中止し必ず配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にしてから、お買い上げの販売店(工事店・サービス店)にご連絡ください。

- 保証期間中は保証書の規定にしたがって、販売店(工事店・サービス店)が修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。なお、離島および離島に準じる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 保証期間が過ぎているときは修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。料金などについては販売店にご相談ください。点検・診断のみでも有料になることがあります。ただし、補修用性能部品の保有期間が過ぎている場合は、修理できないことがあります。
- 修理料金は技術料+部品代+出張料などで構成されています。機器の接続・機器の調整・取り扱い方法の説明なども修理料金に含まれます。
 - 技術料…製品の点検や故障した製品を正常に修復するための料金です。
 - 部品代…修理に使用した部品代金です。
 - 出張料…製品のある場所へ技術員を派遣する費用(出張料)や有料駐車場の費用(駐車料)を別途いただく場合があります。

● ご連絡いただきたい内容

1. 品 名 パッケージエアコン
2. 形名・製品番号 室内ユニットは、保証書に記入してあります。室外ユニットは、室外製品銘板に記入してあります。
3. お買い上げ日 年 月 日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に、リモコンのエラー表示番号なども)
5. ご 住 所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

■ この製品は、日本国内用に設計されていますので、国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This appliance is designed for use in Japan only and the contents in this document cannot be applied in any other country. No servicing is available outside of Japan.

●お問合わせ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1. お問い合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問い合わせ（ご依頼）内容に記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了承をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
 - ① 上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
 - ② 法令などの定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問い合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

13. 環境関連の表示

[1] 再資源化について

このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材質名を表示しています。このユニットは、ご使用終了時に再資源化の一助として製品本体を材質別に容易に分解できる構造になっています。

[2] フロン排出抑制法

ユニットを廃棄される時は、フロン排出抑制法で冷媒の回収が定められています。お買上げの販売店（工事店）、またはメーカー指定のサービス店、もしくはお客様相談窓口にご相談してください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。



室内ユニットおよび室外ユニットに表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることを確認していただくための表示です。

この製品はフロン排出抑制法の第一種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第一種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。

室内ユニットにはフロン類の種類・GWP（地球温暖化係数）が表示されています。システム全体のフロン類の数量は室外ユニットに表示されています。

- ・ フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
- ・ この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
- ・ 冷媒の種類および数量並びにGWP（地球温暖化係数）は、室外ユニットに記載されています。
- ・ 冷媒を追加充てんした場合やサービスで冷媒を入れ換えた場合には室外ユニットの＜冷媒量記入のお願い＞の記入欄に必要事項を記入してください。

[3] 「フロン排出抑制法」に基づく冷凍空調機器の点検について

冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、本製品を所有されているお客様ご自身による簡易点検が義務づけられています。

目視による外観点検を3か月に1回以上実施し、記録することが定められています。お客様ご自身での点検が難しい場合や、点検で漏えいや異常があった場合は、専門業者による点検をお願いします。

詳細は下記のサイトを参照してください。

JARAC 一般社団法人 日本空調設備工業連合会 <http://www.jarac.or.jp/>

点検頻度	点検方法	点検項目
3か月に1回以上	お客様(=所有者様)による目視での外観点検	ユニットからの異常音、ユニットの外観損傷・摩耗・腐食・さび・油漏れ、熱交換器への霜の付着

MEMO

MEMO

MEMO

愛情点検

●長年ご使用のパッケージエアコンの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 運転音が異常に大きくなる。
- 室内ユニットから水がもれる。
- 電源が頻繁に落ちる。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中止

事故防止のため、配線用遮断器(ブレーカー)を切(OFF)にし、販売店に点検・修理をご相談ください。

便利メモ

お買上げ販売店名

電話番号

ご不明な点がございましたらお客様相談窓口（別紙）にお問い合わせください。

三菱電機冷熱相談センター

0037-80-2224(フリーボイス)/073-427-2224(携帯電話対応)

FAX(365日・24時間受付)

0037(80)2229(フリーボイス)・073(428)-2229(通常FAX)

三菱電機株式会社

本社 〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3 (東京ビル)
冷熱システム製作所 〒640-8686 和歌山市手平6-5-66

2021年4月作成

WT09775X01